

Light It Up Blue

MUKOJO! 2022

武庫女を青く照らそう！

4月2日は世界自閉症啓発デーと国連で定められています。その日から1週間を発達障害啓発週間とし、Light It Up Blue (LIUB)として世界中の主なランドマークが青くライトアップされます。武庫川女子大学では、2019年に学院80周年記念行事として第1回を開催、以後毎年、青のライトアップと市民公開講座を開催しています。

今回の市民公開講座のテーマは、不登校と子どもの睡眠障害と発達障害との関連についてです。学校に行きたくても起きられない、眠れない、子どもの睡眠障害について、当事者の語りとともに、みなさまと一緒に考えていく機会にしたいと思っています。多数のご参加をお待ちしております。

LIUB
MUKOJO!
2022

4月2日(土) ~ 8日(金)

会場：中央キャンパス 研究所棟
研究所棟がブルーにライトアップされます。



市民公開講座

不登校と子どもの睡眠障害、 そしてその背景にある発達障害

3月27日(日)

入場無料(会場定員100名) 要事前申込

13:30~16:30(受付12:30より)
会場：中央キャンパス 公江記念ホール

ハイブリッド(会場+Zoomによるオンライン・ライブ配信)により開催予定です。
(新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催のみとなる可能性があります)

申込フォームは
こちら▶▶▶



必要事項を入力し、送信してください。受付確認メールを送信いたします。なお、いただいた情報は、今回の市民公開講座のご案内にのみ使用し、厳重に管理いたします。

基調講演

不登校の影に潜む子どもの睡眠障害

～発達障害との関連も含めて～

中井 昭夫 教授

(武庫川女子大学教育研究所/大学院 臨床教育学研究科/
子ども発達科学研究センター)



中井 昭夫 教授

武庫川女子大学教育研究所/大学院 臨床教育学研究科/子ども発達科学研究センター

医学博士、小児科専門医、子どものこころ専門医、公認心理師、臨床発達心理士。1986年福井医科大学卒業、1991年同大学院博士課程修了。福井医科大学小児科助教、福井県こども療育センター主任医長、福井大学「子どものこころの発達研究センター」特命准教授、兵庫県立「子どもの睡眠と発達医療センター」副センター長などを経て、2018年より現職。日本赤ちゃん学会、日本子ども学会、日本発達神経科学会、日本DCD学会、NPO法人AOZORA福井等の各理事を務める。主な著書に『発達障害児支援とアセスメントのガイドライン』(2014金子書房)『いま、小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学』(2015診断と治療社：監修)『発達性協調運動障害-不器用さのある子どもの理解と支援-』(2019金子書房)、『発達性協調運動障害(DCD)の理解と支援』(2019丸善出版：監修)『イラストでわかるDCDの子どものサポートガイド～不器用さのある子どもの「できた」が増える134のヒントと45の知識～』(2022合同出版)など多数。



澤野 平 さん

子どもの睡眠障害・小児慢性疲労症候群当事者団体「おひさまの家」、理事長

高校生のときに睡眠障害から不登校状態となり、入院治療を受ける。退院後「おひさまの家」に参加し、副理事長などを経て、現在理事長を務める。大学在籍中は睡眠に悩みを抱える学生のために睡眠キャンプを主催。現在は寝具メーカーに就職し、睡眠の大切さを伝え続けている。



荒西 友里 さん

子どもの睡眠障害・小児慢性疲労症候群当事者団体「おひさまの家」、前理事長・現副理事長

中学生で不登校となり、高校1年時に睡眠障害と診断、入院治療を受ける。退院後、元入院患者と共に当事者団体「おひさまの家」を設立、初代理事長として、患者・保護者の会、睡眠に関する講演会やイベントの開催、日本小児神経学会へのブース出展等の活動を通じて、子どもの睡眠に関する啓発活動を行っている。また、大学在籍中に「おはようから始まる創造性」と題してTED x Kyoto Universityに登壇、「いま、小児科医に必要な実践臨床小児睡眠医学」(診断と治療社 2015)にも寄稿した。

講演

パジャマガールのサバイバルプラン

～睡眠障害、発達障害、20代女子。人生は想像以上に
壮絶だからこそ必要なライフプランニング～

荒西 友里 さん(当事者団体「おひさまの家」、前理事長)

座談会

子どもの睡眠障害の当事者から

みなさまに知ってほしいこと、
伝えたいこと

主催 武庫川女子大学教育研究所/子ども発達科学研究センター

お問い合わせ：武庫川女子大学 教育研究所 MAIL：rinkyo@mukogawa-u.ac.jp